

# 月刊 新翔タイムズ

第51号  
新翔タイムズ  
編集室  
発行・熊野新聞社

## 対抗競技や応援合戦など

平成24年度、新翔高校として第6回の体育祭を10月5日に開催した。今年は昨年の台風の影響でできなかったブロック制が復活。ブロック対抗リレーや応援合戦、そして前年から行っていた。借り物競走など盛り上がりを見せた。

学年種目には、3年生は綱引き、2年生は綱取り、1年生は大縄跳びが行われ、どの学年もクラスを合わせて取り組んでいた。閉会式に、ブロックに分かれ円を作り、行われるフォークダンスは、各ブロックの雰囲気や特徴が出ており体育祭の最終演技にふさわしいものになった。

特に、ブロックに分かれ円を作り、行われるフォークダンスは、各ブロックの雰囲気や特徴が出ており体育祭の最終演技にふさわしいものになった。閉会式に、ブロックに分かれ円を作り、行われるフォークダンスは、各ブロックの雰囲気や特徴が出ており体育祭の最終演技にふさわしいものになった。

## 盛り上がった第6回体育祭



**ブロック総合**  
【1位】緑 【2位】赤・黒 【4位】青 【5位】黄

**応援コンクール**  
【優勝】赤 【準優勝】緑 【3位】青  
【4位】黒 【5位】黄

**クラス旗**  
【1位】3年4組 【2位】2年1組 【3位】1年3組

**学年種目**  
【3年綱引き1位】5組 【2年綱取り1位】3組  
【1年大縄跳び1位】3組

**クラス対抗リレー**  
【1位】2年4組 【2位】2年1組 【3位】3年5組

**体育祭結果**



後期生徒会役員に選出された、(左から)副会長の米川君、会長の奥休場君、副会長の小嶋さん

## 後期生徒会役員を選出

9月27日、5時間目に後期生徒会役員選挙が行われた。会長に2年生の奥休場君、副会長に同じく2年生の米川君と小嶋智子さんが立候補し、3人共多数の信託を得て、後期生徒会役員に選出された。

後期生徒会役員に選出された3人に抱負などを聞いた。

副会長の米川君は「前期の生徒会を活動していたことや計画していたことを継続して実践していきたいです。学校の美化に力を入れたいです。学校の美化に力を入れたいです。学校の美化に力を入れたいです。」

環境を整えていきたいです。半日間、がんばります。

小嶋さんは「学校だけでなく、日本、世界へと視野を広げたエコキャンプ運動などにも力を入れたいです。地域の人にも好まれるような明るい学校にしていきたいです。先生方にも力を借りなければならぬこともありますが、3人揃って一杯頑張りたいです。」

3人とも誠実に自分の言葉で意見を語ってくれた。

## 気合の入った演技披露 新宮秋まつり「創作踊り」に参加

10月15日、新宮秋まつりが新宮市中央通りを中心に開催され、15日の創作踊りの部に本校の3年生生進スポーツ選択生男女42名が参加した。本校は前から2番目と早い順番でスタート。あまり緊張をしない間もなく、踊りは始まった。

授業で新宮ハレ節を練習してきた選択生は、本校体育祭でも踊りを披露している。4月から練習に取り掛かり、就職試験やクラブ活動の試合などで忙しい日々の中、皆それぞれに一生懸命練習に取り組みできた。本校がこの祭りに参加して今年で4年目を迎えるが、昨年は大水害の影響で祭りの開催が見送られ、生徒らは非常に残念がっていた。

3年生は、祭りでの踊りを披露できるという期待を持って授業を選



択して踊る者も多い。体育祭でも踊るが、祭りでは踊るのは雰囲気全然違ってくる。たまたまの観客や本格的な音響設備により、生徒らの気持が高まり、皆気合の入った演技ができていた。3回のステージが1回ずつ終わっていくたびに生徒の動きが伸びていき、これまでにない最高の演技を見せられることができたように感じる。踊り終わった生徒の顔に汗が浮かび、笑顔で演技の話をする表情を見ているとまた来年も出場したいという気持ちが湧いてきた。

最後になりましたが、この祭りのための事前準備や当日お忙しい中手伝いに来ていただいた方々、そして会場運営のスタッフの皆さま方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 2学年キャリアアップ発表会

夏休み中に行ったキャリアアップの取り組みの総まとめとして、9月24日に発表会が行われた。それぞれの部門からの発表に生徒たちは耳を傾けていた。

インターシニア部門から、2年3組の上山さんが勝浦のパン屋さんと体験をしたことを発表してくれた。和歌山の土産物である「じゃばら」「マクロ」を使ったパンを作っており、店長さんはアイデアマンだと感じ、また、「パン生地は生きている」という言葉がたいへん印象に残ったと感想を述べた。

5組の若林さんは、トリマーの専門学校でのインターキャンパスに参加した。まず、見学の理由を3つ挙げ、目的意識を



しっかり持って参加した。その1時間半の研修を通して、「人の話を聞く力」や「話す力」がたいへん重要で、それを今後の高校生活でつけていきたいと話していた。

クノールの職場見学では、4組の島本さんの感想文を5組の岡鼻君が代読してくれた。見学先が食品を製造する工場であったことから、非常に厳重な衛生管理がされていることを体験できた。また、現在は企業への就職も大変厳しいということも聞き、これからの高校生活では、家庭学習の大切さを実感したと述べた。

## バドミントン部 全国ジュニア大会出場

バドミントン部は現在3年生が抜けたので、男子6名、女子5名の計11名で活動しています。

6月の総体では、男子団体はベスト4、個人も男子はシングルス3位やベスト8、ダブルスもベスト4、ベスト16など上位に君臨しており、女子も近畿大会県予選で勝利し、ダブルスが近畿大会へ出場することが決まりました。

また、男子は8月16日に行われた、全日本ジュニア予選会でダブルスが優勝し、宮崎県で開催される全国大会に出場しました。これも、0B方に練習を見ていただいたり、毎日のように暑い体育館で一生懸命練習してきた成果だと思います。

大会では、2回戦に進出することはできません

## 先生の紹介 岩倉明德先生



4月から本校にて勤務させていただいております。私は、和歌山市出身で、和歌山市で教員としてスタートし、和歌山市から離れたことなごっこして6年前には田辺市へ移り住み、そして今回、新宮市に移り住むことになりました。早く新宮の町に慣れ「わが町」と思えるようになっていきたいと思います。

新宮での生活が始まって約5ヶ月が経過し、新宮や周辺への町へも出かけるようになり、新宮のことも分かって始めてきました。暑い時期が始まりました。昔より始めた時に雨が降ると感じ、またその雨が和歌山市の雨とは違い、雨粒の大きい激しい雨で驚いていました。それが慣れてきました。町全体の雰囲気として、時間がゆっくり流れていて、優しい空気が流れているように感じ、特に人が優しい住みやすい町だと感じています。

新翔高校の教職員の方々にも、優しく接していただき、助けていただきました。授業や部活動、休憩時間など生徒と触れ合う時間があることで、学校に慣れてきたように感じています。

生徒の皆さんには、新翔高校での高校生活を通じて、ルールを守ることが人生において重要な時期でもあります。一生付き合う友達を作ったり、部活動に青春をかける生徒、一生懸命に勉強に取り組む生徒、また人間関係や恋に悩む生徒もいると思います。そういった高校生活だけでなく、自分の進路において悩むことも多いと思います。進路は安易に決定するのではなく、自分を見つめ直すいい機会だと捉え、しっかりと悩み決断してほしいと思っています。

最後に、6科目となる新翔高校でも生徒と共に学び合い、生徒が成長し、自らも成長していきたい関係を考えていきたいと思います。